

令和5年度 事業報告・決算（概要）

1. 法人全体

事業報告（法人本部）	P 1
財産目録	P 2
法人単位資金収支計算書	P 3
法人単位事業活動計算書	P 4
法人単位貸借対照表	P 5

2. 拠点区分（事業報告、事業活動計算書）

1) おおすか苑	P 6～P 11
2) 山崎デイサービス	P 12～P 13
3) 地域密着サービス	P 14～P 16
4) よこすかぬく森こども園	P 17～P 18
5) おおぶちそよ風こども園	P 19～P 20

3. 資金収支内訳表

（サービス区分）	P 21
----------	------

法 人 本 部

1. 理事会・評議員会などの開催について

- ・定時評議員会（令和5年6月19日開催 評議員7名・理事3名・監事2名出席）
 - （1）令和4年度 計算書類及び財産目録の承認について
 - （2）理事の選任について
 - （3）監事の選任について
- ・第1回理事会（令和5年6月1日開催 理事5名・監事2名出席）
 - （1）令和4年度 事業報告の審議承認について
 - （2）令和4年度 計算書類等の審議承認について
 - （3）給与規程の一部改正について
 - （4）定時評議員会の招集について
 - （5）理事・監事候補者の推薦について
- ・第2回理事会（令和5年6月19日開催 理事6名・監事2名出席）
 - （1）理事長の選任について
- ・第3回理事会（令和5年7月13日開催 理事6名・監事2名出席）
 - （1）令和5年度 一般会計第1次補正予算（案）審議承認について
- ・第4回理事会（令和5年9月25日開催 理事6名・監事1名出席）
 - （1）令和5年度 一般会計第2次補正予算（案）審議承認について
 - （2）よこすかぬく森こども園 園則（運営規程）の一部改正について
 - （3）おおぶちそよ風こども園 園則（運営規程）の一部改正について
- ・第5回理事会（令和5年12月4日開催 理事6名・監事2名出席）
 - （1）令和5年度 一般会計第3次補正予算（案）審議承認について
- ・第6回理事会（令和6年1月29日開催 理事6名・監事2名出席）
 - （1）令和5年度 一般会計第4次補正予算（案）審議承認について
 - （2）給食業務委託業者の選定について
- ・第7回理事会（令和6年3月11日開催 理事6名・監事2名出席）
 - （1）令和5年度 一般会計第5次補正予算（案）審議承認について
 - （2）令和6年度 経営方針並びに各事業計画（案）審議承認について
 - （3）令和6年度 一般会計予算（案）審議承認について
 - （4）令和6年度 資金運用計画の承認について
 - （5）諸規程の一部改正について ①就業規則の一部改正について ②給与規程の一部改正について
 - （6）部長、課長の選任・解任について

2. 監査等の実施

- ・令和5年5月19日 法人監事による令和4年度事業報告及び決算監査を施行
- ・令和5年10月19日 掛川市による実地指導（小規模多機能型居宅よりみち）（グループホーム野樂里）
- ・令和5年11月19日 掛川市による実地指導（おおすか苑居宅介護支援事業所）
- ・令和5年11月16日 法人監事による令和5年度上半期事業報告及び仮決算監査を施行
- ・令和6年2月13日 掛川市による特定教育・保育施設等指導監査（おおぶちそよ風こども園）
改善報告 R6.5月提出予定
- ・令和6年2月16日 掛川市による特定教育・保育施設等指導監査（よこすかそよ風こども園）
改善報告 R6.5月提出予定

3. 登記関係

- ・資産の変更登記 令和5年6月19日登記（32億9810万4936円）
- ・役員に関する事項登記 令和5年6月19日登記（理事長重任）

財 産 目 録
令和6年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	取得年度	使用目的等	取得価額	減価償却累計額	貸借対照表価額
I 資産の部						
1 流動資産						
現金預金	静岡銀行大須賀支店他		運転資金として			208,271,566
事業未収金	静岡県国保連他		2, 3月介護報酬等			113,038,856
未収金			職員給食費 3月分			231,300
未収補助金	掛川市他		利用者負担軽減事業費補助金 他			20,130,694
立替金			特養入所者3月分医療代 他			103,740
前払金			OKIワーク会費4.5.6月分 他			366,712
仮払金			職員親弔慰金 他			10,000
流動資産合計				0	0	342,152,868
2 固定資産						
(1) 基本財産						
土地	(おおすか苑拠点) 掛川市大淵4353他 (おおぶち そよ風こども園拠点) 掛川市大淵4386-1他 (山崎デイサービス拠点) 掛川市山崎60-51他 (地域密着型デイサービス拠点) 掛川市大淵12680-1他 (よこすか めく森こども園拠点) 掛川市横須賀1039-1他		第1種社会福祉事業である、おおすか苑施設等に 使用している 第2種社会福祉事業である、おおぶちそよ風こども 園施設等に使用している 第2種社会福祉事業である、山崎デイサービスセ ンター等に使用している 第2種社会福祉事業である、グループホーム野楽 里施設等に使用している 第2種社会福祉事業である、よこすかめく森こども 園施設等に使用している			41,059,799
建物	(おおすか苑拠点) 掛川市大淵4895他 (おおすか苑拠点) 掛川市大淵4895他 (おおすか苑拠点) 掛川市大淵4895他	1991年度	第1種社会福祉事業である、おおすか苑施設等に 使用している	694,632,108	537,378,284	157,253,824
	(おおすか苑拠点) 掛川市大淵4895他	1998年度	第1種社会福祉事業である、おおすか苑施設等に 使用している	245,195,485	156,287,112	88,908,373
	(おおすか苑拠点) 掛川市大淵4895他	2003年度	第1種社会福祉事業である、おおすか苑施設等に 使用している(エントリ型)	367,112,681	219,392,310	147,720,371
	(おおすか苑拠点) 掛川市大淵4895他	2003年度	第1種社会福祉事業である、おおすか苑施設等に 使用している(エントリ型)	39,380,000	2,858,331	36,521,669
	(おおすか苑拠点) 掛川市大淵4895他	2003年度	第1種社会福祉事業である、おおすか苑施設等に 使用している (居室事務所)空調を入替使用している(R3)	118,471,500	80,523,794	37,947,706
	(おおすか苑拠点) 掛川市大淵4895他	2007年度	第1種社会福祉事業である、おおすか苑施設等に 使用している	2,640,000	427,460	2,212,540
	(おおぶち そよ風こども園拠点) 掛川市大淵4386-1他	2004年度	第2種社会福祉事業である、おおぶちそよ風こども 園施設等に使用している	80,115,000	80,114,990	10
	(山崎デイサービス拠点) 掛川市山崎60-51他	2010年度	第2種社会福祉事業である、山崎デイサービスセ ンター等に使用している	468,288,660	275,097,217	193,191,443
	(地域密着型デイサービス拠点) 掛川市大淵12680-1他 (よこすか めく森こども園拠点) 掛川市横須賀1039-1他	2016年度	空調を入替使用している(R2.3) 第2種社会福祉事業である、グループホーム野楽 里施設等に使用している	24,226,000	5,113,959	19,112,041
		2020年度	第2種社会福祉事業である、よこすかめく森こども 園施設等に使用している	82,928,958	72,864,735	10,064,223
定期預金			空調を入替使用している(R3.4) 第2種社会福祉事業である、グループホーム野楽 里施設等に使用している	2,266,000	453,623	1,812,377
			第2種社会福祉事業である、よこすかめく森こども 園施設等に使用している	340,133,767	108,661,639	231,472,128
				803,094,083	100,521,857	702,572,226
基本財産合計				3,268,484,242	1,639,695,311	1,628,788,931
(2) その他の固定資産						
土地	(おおすか苑拠点) 掛川市大淵4348他 (山崎デイサービス拠点) 掛川市山崎60-85他 (おおぶち そよ風こども園拠点) 掛川市大淵4395-1 (おおすか苑拠点) 掛川市大淵4895		第1種社会福祉事業である、おおすか苑職員駐 車場を使用している 山崎デイサービスセンターの駐車場及び拡張のため に確保している おおぶち そよ風こども園駐車場に使用している	38,950,000		38,950,000
建物	(よこすか めく森こども園拠点) 掛川市横須賀1039-1他 (おおぶち そよ風こども園拠点) 掛川市大淵4386-1他		第1種社会福祉事業である、おおすか苑倉庫に使用 している 令和3年度外壁改修工事 第2種社会福祉事業である、よこすか めく森こども 園の乳児プール倉庫に使用している 第2種社会福祉事業である、おおぶち そよ風こども 園倉庫に使用している	13,430,000		13,430,000
	各拠点		おおぶち そよ風こども園屋上防水更新工事	11,236,000		11,236,000
	日産キャバン等 1 1 台		各施設外構工事、保育園遊具等	302,500	176,632	125,868
	各拠点		利用客送迎等	231,000	104,604	126,396
	おおすか苑、地域密着型サービス拠点		介護ベッド等	28,160,000	2,464,000	25,696,000
	おおすか苑、地域密着型サービス拠点		介護保険ソフト、パソコン20台、LED	192,698	84,961	107,737
	おおすか苑、地域密着型サービス拠点		電話加入権	485,100	485,099	1
	静岡県退職共済会		会計管理ソフト等	230,725	74,234	156,491
	定期預金 静岡銀行大須賀支店他		退職金支払いのための積立金	6,442,051	617,362	5,824,689
	国債 モルガン・スタンレー証券		将来の修繕の目的のために積み立てている定期 預金	426,255,825	232,782,091	193,473,734
構築物	各拠点		将来の施設整備の目的のために積み立てている定 期預金、国債	29,254,154	25,365,543	3,888,611
車輦運搬具	おおすか苑、地域密着型サービス拠点		将来の修繕の目的のために積み立てている定期 預金	218,875,668	180,085,138	38,790,530
器具及び備品	おおすか苑、地域密着型サービス拠点		将来の修繕の目的のために積み立てている定期 預金	49,557,360	37,961,440	11,595,920
有形リース資産	おおすか苑、地域密着型サービス拠点		将来の修繕の目的のために積み立てている定期 預金	9,007,555	7,399,414	1,608,141
権利	おおすか苑、地域密着型サービス拠点		将来の修繕の目的のために積み立てている定期 預金			72,000
ソフトウェア	おおすか苑、地域密着型サービス拠点		将来の修繕の目的のために積み立てている定期 預金			1,608,141
退職給付引当資産	静岡県退職共済会		将来の修繕の目的のために積み立てている定期 預金			16,067,050
人件費積立資産	定期預金 静岡銀行大須賀支店他		将来の修繕の目的のために積み立てている定期 預金			293,184,000
施設整備等積立資産	国債 モルガン・スタンレー証券		将来の修繕の目的のために積み立てている定期 預金			293,438,000
保育所施設整備等積立資産	定期預金 静岡銀行大須賀支店他		将来の修繕の目的のために積み立てている定期 預金			122,000,000
長期前払費用	鳥田掛川信用金庫大須賀支店他		将来の修繕の目的のために積み立てている定期 預金			6,764,192
その他の固定資産	火災保険料 日本興亜損保 他		将来の修繕の目的のために積み立てている定期 預金			100,000
	鳥田掛川信用金庫他		出資金			100,000
その他の固定資産合計				832,610,636	487,600,518	1,076,635,360
固定資産合計				4,101,094,878	2,127,295,829	3,267,821,569
資産合計				4,101,094,878	2,127,295,829	3,609,974,437
II 負債の部						
1 流動負債						
事業未払金	職員派遣他					32,547,630
1年以内返済予定設備資金借入金	静岡銀行大須賀支店他					51,333,000
1年以内返済予定リース債務	NECパピオ外リノベーション他					5,895,060
未払費用	3月分職員給料未払分					21,372,328
預り金	県社会福祉事業共済会(佐藤)退職金					40,000
職員預り金	3月分源泉所得税他					10,112,105
貸与引当金	6月貸与 R 5 年度対応分					34,040,310
流動負債合計				0	0	155,340,433
2 固定負債						
設備資金借入金	静岡銀行大須賀支店他					193,334,000
リース債務	NECパピオ外リノベーション他					5,700,860
退職給付引当金	静岡県退職共済会分引当					16,067,050
固定負債合計				0	0	215,101,910
負債合計				0	0	370,442,343
差引純資産				4,101,094,878	2,127,295,829	3,239,532,094

法人単位資金収支計算書

(自) 令和 5年 4月 1日 (至) 令和 6年 3月31日

(単位: 円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)		
事業活動による収支	収入	0165 介護保険事業収入	657,617,000	652,882,269	4,734,731	
		0181 保育事業収入	288,290,000	296,131,608	-7,841,608	
		0198 借入金利息補助金収入	1,458,000	1,458,347	-347	
		0199 経常経費寄附金収入	2,000	0	2,000	
		0200 受取利息配当金収入	777,000	981,516	-204,516	
		0201 その他の収入	4,581,000	4,533,115	47,885	
	事業活動収入計(1)		952,725,000	955,986,855	-3,261,855	
	支出	0129 人件費支出	651,156,000	634,226,193	16,929,807	
		0130 事業費支出	140,982,000	121,690,553	19,291,447	
		0131 事務費支出	163,256,000	147,078,021	16,177,979	
		0136 利用者負担軽減額	2,873,000	2,044,480	828,520	
		0137 支払利息支出	2,579,000	2,285,826	293,174	
		0138 その他の支出	3,555,000	2,771,900	783,100	
事業活動支出計(2)		964,401,000	910,096,973	54,304,027		
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		-11,676,000	45,889,882	-57,565,882		
施設整備等による収支	収入	0204 施設整備等補助金収入	45,330,000	45,330,000	0	
		施設整備等収入計(4)	45,330,000	45,330,000	0	
	支出	0143 設備資金借入金元金償還支出	65,730,000	65,663,000	67,000	
		0144 固定資産取得支出	4,716,000	2,713,745	2,002,255	
		0146 ファイナンス・リース債務の返済支出	7,634,000	7,432,204	201,796	
	施設整備等支出計(5)		78,080,000	75,808,949	2,271,051	
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)		-32,750,000	-30,478,949	-2,271,051		
その他の活動による収支	収入	0214 積立資産取崩収入	1,880,000	1,267,200	612,800	
		その他の活動による収入計(7)	1,880,000	1,267,200	612,800	
	支出	0152 積立資産支出	32,029,000	31,711,200	317,800	
		その他の活動支出計(8)		32,029,000	31,711,200	317,800
		その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)		-30,149,000	-30,444,000	295,000
	予備費支出(10)		0	—	0	
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		-74,575,000	-15,033,067	-59,541,933		
前期末支払資金残高(12)		293,113,872	293,113,872	0		
当期末支払資金残高(11)+(12)		218,538,872	278,080,805	-59,541,933		

第二号第一様式（第二十三条第四項関係）

法人単位事業活動計算書

（自）令和5年4月1日（至）令和6年3月31日

（単位：円）

勘定科目			当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動増減の部	収益	0056 介護保険事業収益	652,882,269	689,265,511	-36,383,242
		0072 保育事業収益	296,131,608	295,859,427	272,181
		0089 経常経費寄附金収益	0	175,000	-175,000
		サービス活動収益計(1)	949,013,877	985,299,938	-36,286,061
	費用	0015 人件費	635,721,436	628,483,520	7,237,916
		0016 事業費	121,735,553	125,857,211	-4,121,658
		0017 事務費	141,061,644	132,044,989	9,016,655
		0026 利用者負担軽減額	2,044,480	2,284,664	-240,184
		0027 減価償却費	145,782,957	145,361,746	421,211
		0028 国庫補助金等特別積立金取崩額	-95,313,235	-99,121,908	3,808,673
サービス活動費用計(2)	951,032,835	934,910,222	16,122,613		
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)		-2,018,958	50,389,716	-52,408,674	
サービス活動外増減の部	収益	0092 借入金利息補助金収益	1,458,347	2,289,900	-831,553
		0093 受取利息配当金収益	981,516	776,293	205,223
		0098 その他のサービス活動外収益	4,533,115	4,838,622	-305,507
		サービス活動外収益計(4)	6,972,978	7,904,815	-931,837
	費用	0033 支払利息	2,285,826	3,060,352	-774,526
		0275 積立資産評価損	8,428,500	7,498,000	930,500
		0038 その他のサービス活動外費用	3,036,700	3,417,400	-380,700
		サービス活動外費用計(5)	13,751,026	13,975,752	-224,726
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)		-6,778,048	-6,070,937	-707,111
	経常増減差額(7)=(3)+(6)		-8,797,006	44,318,779	-53,115,785
特別増減の部	収益	0100 施設整備等補助金収益	45,330,000	45,330,000	0
		0103 固定資産受贈額	0	1,616,400	-1,616,400
		0107 サービス区分間繰入金収益	0	550,000	-550,000
		0109 拠点区分間固定資産移管収益	0	3,567,878	-3,567,878
		0111 その他の特別収益	264,800	247,000	17,800
		特別収益計(8)	45,594,800	51,311,278	-5,716,478
	費用	0042 固定資産売却損・処分損	57,401	3,514,084	-3,456,683
		0044 国庫補助金等特別積立金積立額	42,398,301	42,398,301	0
		0048 サービス区分間繰入金費用	0	550,000	-550,000
		0050 拠点区分間固定資産移管費用	0	3,567,878	-3,567,878
特別費用計(9)	42,455,702	50,030,263	-7,574,561		
特別増減差額(10)=(8)-(9)		3,139,098	1,281,015	1,858,083	
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)		-5,657,908	45,599,794	-51,257,702	
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)		734,461,326	681,363,532	53,097,794
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)		728,803,418	726,963,326	1,840,092
	基本金取崩額(14)		0	0	0
	その他の積立金取崩額(15)		8,428,500	7,498,000	930,500
	その他の積立金積立額(16)		30,000,000	0	30,000,000
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)		707,231,918	734,461,326	-27,229,408

第三号第一様式(第二十七条第四項関係)

法人單位貸借對照表

令和6年3月31日現在

(單位：円)

資 産		部		部		負 債		部	
	当年度末	前年度末	増	減		当年度末	前年度末	増	減
0001 流動資産	342,152,868	344,351,922	-2,199,054		0006 流動負債	155,340,433	157,209,241	-1,868,808	
1111 預金	208,271,566	223,457,903	-15,186,337		2112 事業未払金	32,547,630	26,090,052	6,457,578	
1131 事業未収金	113,038,856	101,639,532	11,399,324		2122 1年以内返済予定設備資金借入金	51,333,000	65,663,000	-14,330,000	
1132 未収金	231,300	266,400	-35,100		2124 1年以内返済予定リース債務	5,895,060	7,319,124	-1,424,064	
1133 未収補助金	20,130,694	18,430,186	1,700,508		2131 未払費用	21,372,328	21,203,319	169,009	
1161 立替金	103,740	121,870	-18,130		2132 預り金	40,000	0	40,000	
1162 前払金	366,712	396,311	-29,599		2133 職員預り金	10,112,105	3,944,679	6,167,426	
1181 仮払金	10,000	39,720	-29,720		2152 賞与引当金	34,040,310	32,989,067	1,051,243	
0002 固定資産	3,267,821,569	3,379,833,705	-112,012,136		0007 固定負債	215,101,910	268,871,450	-53,769,540	
0003 基本財産	2,191,186,209	2,290,735,524	-99,549,315		2311 設備資金借入金	193,334,000	244,667,000	-51,333,000	
1211 土地	561,397,278	561,397,278	0		2313 リース債務	5,700,860	8,316,600	-2,615,740	
1212 建物	1,628,788,931	1,728,338,246	-99,549,315		2321 退職給付引当金	16,067,050	15,887,850	179,200	
1221 定期預金	1,000,000	1,000,000	0		負債の部合計	370,442,343	426,080,691	-55,638,348	
0004 その他の固定資産	1,076,635,360	1,089,098,181	-12,462,821		純 資 産 の 部				
1311 土地	63,616,000	63,616,000	0		0009 基本金	11,589,056	11,589,056	0	
1312 建物	32,037,182	33,653,074	-1,615,892		3111 基本金	11,589,056	11,589,056	0	
1313 構築物	193,473,734	211,700,274	-18,226,540		0010 国庫補助金等特別積立金	1,812,089,120	1,865,004,054	-52,914,934	
1315 車輛運搬具	3,888,611	7,136,959	-3,248,348		3211 国庫補助金等特別積立金	1,812,089,120	1,865,004,054	-52,914,934	
1316 器具及び備品	38,790,530	50,600,652	-11,810,122		0011 その他の積立金	708,622,000	687,050,500	21,571,500	
1319 有形リース資産	11,595,920	15,635,724	-4,039,804		3221 人件費積立金	293,184,000	296,845,500	-3,661,500	
1321 権利	72,000	72,000	0		3222 施設整備等積立金	293,438,000	268,205,000	25,233,000	
1322 ソフトウェア	1,608,141	2,852,333	-1,244,192		3223 保管所施設・設備整備積立金	122,000,000	122,000,000	0	
1329 退職給付引当資産	16,067,050	15,887,850	179,200		0012 次期繰越活動増減差額	707,231,918	734,461,326	-27,229,408	
1332 人件費積立資産	293,184,000	296,845,500	-3,661,500		3311 次期繰越活動増減差額	707,231,918	734,461,326	-27,229,408	
1219 施設整備等積立資産	293,438,000	268,205,000	25,233,000		3312 (うち当期活動増減差額)	-5,657,908	45,599,794	-51,257,702	
1220 保育所施設・設備整備積立資産	122,000,000	122,000,000	0						
1334 長期前払費用	6,764,192	792,815	5,971,377						
1341 その他の固定資産	100,000	100,000	0		純資産の部合計	3,239,532,094	3,298,104,936	-58,572,842	
資産の部合計	3,609,974,437	3,724,185,627	-114,211,190		負債及び純資産の部合計	3,609,974,437	3,724,185,627	-114,211,190	

1. 目標・活動に対する評価

『その人らしく安全で快適な生活を送れるように援助する』の目標を立てた。

ツールが徹底不足からアセスメント書類の更新に至らなかったが、多職種との連携は行えた。定期的な面接は実施したが、手順書使用によるお互いの技術確認は行えなかった。各委員会は、取組状況に差が出てしまった。日々のミーティングも不確実な所があった為、今後徹底するようにしたい。事故・感染症の研修を行い、手順の確認、事故への対策ポイントを学んだ。事業継続計画については、作成しているが、今後随時見直しをしていく。

<活動・行事・面会等>

誕生日御膳の提供が行え、入所者の満足そうな様子が伺えた。施設内での行事は実施できたが、遠足は実施することができなかった。面会もまだ定められた場所での実施はであるが、家族を中心に、昨年度より面会に来られるが増えた。

2. 特養(従来型)入居者の状況

<利用状況>

利用者数は延べ17,988名であり、前年度の延べ17,796名に比較し、192名の増加であった。稼働率は、昨年度の97.5%に対し今年度は98.3%であった。

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計
従来型	利用者計(人数)	1,485	1,513	1,451	1,539	1,540	1,467	1,562	1,488	1,540	1,505	1,428	1,470	17,988
	稼働率	99.0%	97.6%	96.7%	99.3%	99.4%	97.8%	100.8%	99.2%	99.4%	97.1%	98.5%	94.8%	98.3%

<入・退所状況>

入所23名、退所23名、昨年度に比べ2名減、入所経路は自宅8名、療養型施設2名、医療機関8名、老健2名、グループホーム2名であった。退所は死亡が22名、医療機関1名であった。

<所在者の状況>

平均年齢男性80.8歳、女性86.1歳、入所期間男性34.7か月、女性29.7か月、平均介護度3.9、男性4.7、女性3.8であった。入院者8名総日数95日、昨年に比べ201日減少した。

3. ショート利用状況

年間延べ3,810名の利用、1日平均10.4人、稼働率52.0%、利用状況は次のとおり。

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
延べ利用者数	0	215	378	1,004	1,564	510	139	3,810
割合	0.0%	5.6%	9.9%	26.4%	41.0%	13.4%	3.6%	100.0%

4. 特養(従来型)優先入所

定例委員会に加え臨時の優先入所検討会を実施、申込から入所までの待機の期間が短くなっている。年間申し込み者42名であった。

5. 職員研修・会議

防災訓練は毎月実施、その他義務となっている研修も含め内部研修15回、外部研修23回参加できた。

6. 地域との交流

中学生の福祉体験、地区の方の草刈り、福祉委員の清掃活動、祭典見学、総合防災訓練にて地域の方との交流ができた。定期的なボランティアの受け入れはしなかった。

令和 5 年度

特別養護老人ホームおおすか苑（ユニット型）事業報告書（概要版）

1. 目標・活動に対する評価

『その人らしく安全で快適な生活を送れるように援助する』の目標を立てた。

自分で行えることはやっていたが、十分ではなかった。ケアプラン・24 時間シート作成は行えているが、ケアプランの見直しに合わせ 24 時間シートの更新という状況に至らなかった。委員会活動については委員会自体への意識づけが弱い面があった。面接は半年に 1 回は実施できた。事故・感染症の研修は委員会で実施し、手順や対策のポイントを学ぶことができた。業務継続計画作成はしているが、随時の見直しが必要である。

<活動・行事・面会等>

誕生日御膳の提供が行え、入居者の満足そうな表情が伺えた。施設内での行事は実施できたが、遠足は実施することができなかった。面会も定められた場所で実施している。以前に比べると面会者は増えている。入居者とともに買い物外出は行った。

2. 特養（ユニット）入居者の状況

<利用状況>

延べ 10,779 名、前年度 10,845 名に比べると 66 名の減少であった。

稼働率は昨年度 99.0%に対し、98.2%であった。

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計
ユニット	利用者計(人数)	900	885	864	917	920	886	919	872	925	922	858	911	10,779
	稼働率	100.0%	95.2%	96.0%	98.6%	98.9%	98.4%	98.8%	96.9%	99.5%	99.1%	98.6%	98.0%	98.2%

<入・退去状況>

入居 13 名、退居 14 名計 27 名の異動があり昨年度 16 名に比べると 11 名増であった。入所経路は自宅 9 名、療養型施設 1 名、特養（従来型）1 名、老健 1 名、グループホーム 1 名、退居理由は死亡 11 名、医療機関へ転院 1 名、特養（従来型）へ 1 名、他特養へ 1 名であった。

<所在者の状況>

平均年齢 男性 88.3 歳、女性 88.3 歳、入居期間 男性 19.1 か月、女性 50.0 か月、平均介護度 男性 2.7、女性 3.7 であった。入院日数は 41 日、1 名のみであった。

3. 特養（ユニット型）優先入所

定例委員会に加え臨時の優先入所検討会を実施した。入所申込は 30 名。昨年と比べ 7 名増加となっている。待機者が減少しており申込から入居までの期間は短くなっている。

4. 職員研修・会議

防災訓練毎月実施、義務化されているものも含め内部研修 15 回、オンラインでの外部研修も含め 17 回参加できている。

5. 地域との交流

中学生の福祉体験、地区の方の草刈り、福祉委員の清掃活動、祭典見学、総合防災訓練にて地域の方との交流を行うことができた。

デイサービスセンターほほえみ 事業報告書（概要版）

1. 利用状況（重点目標への取り組み、評価）

重点目標①『1日平均利用者数18名以上（目標：平日20名、土曜13名）』の達成状況

3月末において1日平均利用者数は13.9名、稼働率は49.2%と目標に達しなかった。新規の利用開始者はいたが、状態の変化や施設入所での利用終了者がそれを上回り、利用者数が増えなかった。また、入院やショートステイ利用での欠席、利用者またはその家族が新型コロナウイルスに感染し長期の欠席を必要とするケースなどが稼働率の低下につながった。見学やお試し利用から利用につながるが多かった。利用回数を増やしている利用者もいるが、さらに新規利用の相談を積極的に受けていく必要がある。利用者や家族のニーズや要望に耳を傾け、可能な限り対応していくことで、満足していただけるサービスの提供に努めた。

重点目標②『安全で効率の良いサービスを提供するため、環境や体制を整える』の達成状況

環境面では、フロア内を整理しゆつたりと過ごせるスペースが広がった。定期的に危険箇所の点検をし、安全で過ごしやすい環境づくりを行った。また利用日ごとにテーブルや席の配置に配慮した。

体制面では、職員やその家族の新型コロナウイルス感染、または家庭の事情により、職員が長期休みを取ることもあったが、山崎デイサービスと連携し、職員配置の調整を行った。

また、山崎デイサービスセンター、居宅介護支援事業所との情報共有や連携に努めた。

重点目標③『地域に根ざした社会福祉事業者として、地域住民の生活を支えるサービスを継続させる』の達成状況

地域行事等への参加はできなかったが、利用者家族を中心に地域との情報交換を行い連携することで信頼関係の構築に努めた。毎月のほほえみ通信は、外部居宅介護支援事業所、利用者家族へ配布した。さらに、地域の公会堂やサロン等にも置かせてもらうようにした。

利用者、職員に新型コロナウイルスの感染者が出た際にも、感染拡大防止への対策を行っていたことで通常営業が継続できた。また、悪天候時にも、状況を確認しながら通常営業を行った。

2. サービス提供について

介護サービス、各種活動や機能訓練、介護相談、サービス計画書の作成など、計画通りに実施できた。活動（レクリエーション）は準備の段階から多くの利用者の参加を促し、季節感や達成感をもって楽しんでいただくことができた。その様子を毎月のおたよりで家族などへ伝えた。余暇時間にも充実した過ごし方ができるよう準備をした。日常的な感染防止対策や防災訓練、環境整備などを通じて安全なサービス提供に努めた。

3. 職員研修、会議

内部での研修や会議は計画通り実施できた。外部の研修や会議は、オンラインでも参加できおり、内容を他職員にも伝えることができた。

ケース検討会やセンター会議で利用者の状況把握やサービス提供についての確認と見直しをした。また、法人内の在宅サービス提供体制について、在宅福祉課内連絡会議を随時行った。今後も、ニーズに合ったサービス提供について検討していきたい。

おおすか苑居宅介護支援事業所 事業報告（概要版）

1. 目標達成のための具体的な取り組み等

- ・事業所内での事例検討会等で毎週意見交換を行った。
月1回事業所での内部研修を開催した。
包括支援センター職員と情報を共有し、客観的意見や知識を得た。
- ・業務時間内に仕事を終わることを徹底することができなかった。
- ・大東地域包括支援センターから4件の新規利用者の紹介があった。
- ・課題整理総括表は活用できなかった。
- ・持病のある利用者について状態変化に早期に気づき適切な対応をすることに努めた。
- ・新規利用者へのサービス調整では法人内サービス事業所の利用を積極的に検討した。
- ・家族や病院、包括支援センターから新規の支援依頼があれば、早急に家族等と連絡を取り訪問をすることを心掛けた。介護支援専門員同士が相談しながら課題を解決した。
- ・新規受入れ件数が終了件数よりも多く、各介護支援専門員の担当件数はやや増加した。
要支援の利用者が、昨年より増えたことも増加の理由であった。
- ・終了件数は昨年より5件多い。新規受入れ時にすでに病状が進行しているケースが増えた。
また状態が変わると早いうちから施設入所を希望するケースが増えた。
- ・地域での集まりや会議が再開してきた。在宅介護を支援する事業所として、今後も積極的に地域とのつながりを持つことが必要と考えている。

2. 活動内容

居宅介護支援の利用状況

ケアプラン作成件数は延べ1833件。昨年度と比較して13件の増であった。

短期間で支援を終了するケースが多かった。入院や入所、死亡による支援終了者も多かった。

予防介護支援の利用状況

ケアプラン作成件数は延べ199件。昨年度と比較して52件の増であった。

居宅介護支援異動状況

新規作成件数は75件、そのうち68%が地域包括支援センターからの紹介であった。

終了件数は66件で理由として多いのが入所、入院で全体の71%を占めていた。

介護認定調査

認定調査件数は延べ7件。新型コロナ感染予防のため、令和2年より調査依頼の受入れを中止していたが、今年度より再開した。

3. 研修、会議

研修や会議は計画通り実施できた。オンライン開催が主流になっているなか、参加にも慣れ活用できた。

4. 利用者満足度調査及び自己評価

- ・満足度アンケートを実施した。
- ・職員の自己評価を実施した。

掛川市南部大須賀地域包括支援センター事業報告（概要版）

1	担当圏域	掛 川 市 115,589 人（前回比－390 人） 高齢化率 34.99 % （大須賀地区）人 口 10,321 人（前回比 －135 人） 高齢者人口 3,611 人（前回比 －21 人） 高 齢 化 率 34.99%（前回比 ＋0.25%） ※R5.4月現在(前回 R4.4月)
2	職員体制	主任介護支援専門員1名・看護師1名・社会福祉士2名（1名は兼務）
3	取り組んだ事業内容	【1】総合相談支援業務 ① 実態把握 68 件 ② 総合相談受付、対応数 ⇒1903 件（昨年比 －101 件） （来所 550 件、電話 1048 件、訪問 305 件） 【2】権利擁護業務 深刻な高齢者虐待ケースはなかったが、経済的困窮や、高齢ひとり暮らしで身寄りのない方など、権利擁護に関わる事例が増えた。病院退院時の支援や転院の手続き、生活保護受給、成年後見制度利用などについて関係各所と連携して対応した。 【3】包括的・継続的ケアマネジメント支援業務 主任介護支援専門員を主に、市や病院、事業所などの他機関と連携して包括的支援の体制づくりに取り組んだ。 【4】介護予防支援事業 請求件数 337 件（直営 63 件、委託 274 件） 介護予防ケアマネジメント業務 請求件数 212 件（直営 144 件、委託 68 件） 【5】地域におけるネットワーク活動の展開 コロナ禍が明け、地域の会合への出席依頼が再開してきた。地区福祉懇談会、地区福祉研修会などに出席し、地域との連携、協力体制の構築を進めた。 【6】認知症に関する取り組み 市から事業を一部委託されている掛川市社会福祉協議会と協力し、本人や家族への支援、また一般市民への啓蒙事業を進めた。サポーター養成講座は1回、大須賀地区民生児童委員へ実施した。 【7】生活支援体制整備事業に関する取り組み 昨年度から開催している「おおすか健康広場いつもんとこ」は、社会福祉協議会と協同運営を継続した。サポーター（ボランティア）等の社会資源の開発、育成に努めた。 【8】在宅医療・介護連携推進事業に関する業務 医療と介護の包括的支援の提供のため、常時、関係機関と連携を図った。特に、医療機関との協力体制は必須になっており、頻繁に情報共有や相談の機会をもった。

第二号第四様式(第二十三条第四項関係)

おおすか苑拠点区分事業活動計算書

(自) 令和5年4月1日 (至) 令和6年3月31日

(単位: 円)

勘定科目			当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動増減の部	収益	0056 介護保険事業収益	507,139,866	527,055,717	-19,915,851
		0089 経常経費寄附金収益	0	175,000	-175,000
		サービス活動収益計(1)	507,139,866	527,230,717	-20,090,851
	費用	0015 人件費	324,321,187	311,094,494	13,226,693
		0016 事業費	70,359,592	72,120,693	-1,761,101
		0017 事務費	73,610,065	69,547,021	4,063,044
		0026 利用者負担軽減額	1,991,418	2,271,731	-280,313
		0027 減価償却費	47,668,115	47,102,072	566,043
		0028 国庫補助金等特別積立金取崩額	-25,404,695	-29,154,940	3,750,245
		サービス活動費用計(2)	492,545,682	472,981,071	19,564,611
		サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	14,594,184	54,249,646	-39,655,462
サービス活動外増減の部	収益	0092 借入金利息補助金収益	214,950	429,900	-214,950
		0093 受取利息配当金収益	792,377	611,780	180,597
		0098 その他のサービス活動外収益	1,289,190	998,807	290,383
		サービス活動外収益計(4)	2,296,517	2,040,487	256,030
	費用	0033 支払利息	349,963	429,900	-79,937
		0275 積立資産評価損	8,428,500	7,498,000	930,500
		0038 その他のサービス活動外費用	115,400	61,200	54,200
		サービス活動外費用計(5)	8,893,863	7,989,100	904,763
		サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	-6,597,346	-5,948,613	-648,733
経常増減差額(7)=(3)+(6)			7,996,838	48,301,033	-40,304,195
特別増減の部	収益	0100 施設整備等補助金収益	14,330,000	14,330,000	0
		0107 サービス区分間繰入金収益	0	550,000	-550,000
		0109 拠点区分間固定資産移管収益	0	3,567,878	-3,567,878
		0111 その他の特別収益	115,400	61,200	54,200
		特別収益計(8)	14,445,400	18,509,078	-4,063,678
	費用	0042 固定資産売却損・処分損	1	3,514,082	-3,514,081
		0044 国庫補助金等特別積立金積立額	13,508,049	13,508,049	0
		0047 拠点区分間繰入金費用	16,000,000	16,000,000	0
		0048 サービス区分間繰入金費用	0	550,000	-550,000
		特別費用計(9)	29,508,050	33,572,131	-4,064,081
		特別増減差額(10)=(8)-(9)	-15,062,650	-15,063,053	403
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)			-7,065,812	33,237,980	-40,303,792
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)		425,602,448	384,866,468	40,735,980
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)		418,536,636	418,104,448	432,188
	基本金取崩額(14)		0	0	0
	その他の積立金取崩額(15)		8,428,500	7,498,000	930,500
	その他の積立金積立額(16)		30,000,000	0	30,000,000
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)		396,965,136	425,602,448	-28,637,312

山崎デイサービスセンター 事業報告書（概要版）

1. 利用状況（重点目標への取り組み、評価）

重点目標①『1日平均利用者数16名以上』への取り組み

9月末時点、1日平均利用者数は12.3名であった。その後、居宅介護支援事業所との情報交換やデイサービスほほえみとの連携体制から、お試しや見学などの受け入れを積極的に行い、下半期は4名の新規利用者を獲得した。しかし上半期の利用終了者が多かったことから利用人数の回復には至らなかった。また、下半期は長期療養をした利用者が多く、3月末時点での平均利用者数は12.5名と目標人数には大幅に届かなかった。

利用者獲得に繋げようと新たなパンフレットの作成を計画したが実施できなかった。

近隣にある社会教育施設「とうもんの里」で、毎月、デイサービスのお便りを掲示してもらい、PR活動を行った。

重点目標②『当事業所のサービスとして特化したものを作り、職員間で共有し、外部へPRする』への取り組み

年度当初「特化したサービスを作る」を目標にしたが、外部へPR出来るほど特化したものを作ることは現状では難しく、年度途中で「統一したケア、丁寧で適切なケアを行う」に修正した。統一したケアは、ミーティングやケース会議などでの意見交換で、職員間で周知することができた。以前は、利用者の日々の変化に対して速やかに意見交換ができていないという課題があったが、ミーティングを活用することで対応ができるようになった。

重点目標③『地域に根差した社会福祉事業者として、地域住民の生活を支えるサービスを継続させる。』への取り組み

地域活動に参加することで、役員やリーダー的役割を担っている方々との繋がりができたので、今後の事業に活かしていく。また、地域活動への参加を継続することで、地域との繋がりを深め、地域福祉へ貢献していきたい。

2. サービス提供について

介護サービス、各種活動や介護相談など、どれもほぼ計画通りに実施できた。

口腔体操も効果的に行うことが定着し、課題となっていた口腔ケアも確認できるようになった。しかし、自分で行っている方の確認まではできなかった。入浴サービスでの介助が過剰になってしまふことに対しては、職員間で意見交換し、利用者ごとにポイントを絞って行うことで少しずつ改善した。機能訓練では、午前中のサーキット形式の運動は継続して実施できた。午後の集団体操でも体操の効果利用者に伝えながら行うことができた。

ケース会議を毎月行い職員間で情報共有ができた。家族への情報提供も送迎時などを使って実施できた。

3. 職員研修、会議

内部研修や事業所内の会議は、ほぼ計画通り実施できた。外部研修や事業所外との会議にも参加できた。在宅福祉課内連絡会議を随時行い、法人の在宅サービス提供体制について検討した。今後も状況をみながら検討していきたい。

4. その他

- ・新型コロナウイルス感染症に関して、5月より5類となり規制が緩和されたが、家族や本人が感染し、療養をとる利用者が複数いた。また、今年度も疥癬感染による長期療養者が、複数でたため、感染症に対して注意が必要である。疥癬に関しては、症状の確認から家族への受診依頼など、タイミングの難しさを感じた。
- ・経年劣化などによる設備の不具合が目立ったが、その都度、修繕を行った。
- ・効果的なサービス提供など業務内容の整理はしていたが、IT化の推進に対する具体的な検討はできなかった。

第二号第四様式（第二十三条第四項関係）

山崎デイサービスセンター拠点区分事業活動計算書

（自）令和 5 年 4 月 1 日（至）令和 6 年 3 月 31 日

（単位：円）

勘 定 科 目			当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)	
サ ー ビ ス 活 動 増 減 の 部	収 益	0056 介護保険事業収益	30,170,403	37,060,724	-6,890,321	
		サービス活動収益計(1)	30,170,403	37,060,724	-6,890,321	
	費 用	0015 人件費	24,115,861	26,355,130	-2,239,269	
		0016 事業費	5,285,312	6,147,790	-862,478	
		0017 事務費	3,479,912	4,494,643	-1,014,731	
		0026 利用者負担軽減額	0	12,933	-12,933	
		0027 減価償却費	6,263,994	6,360,144	-96,150	
		0028 国庫補助金等特別積立金取崩額	-116,600	-116,600	0	
	サービス活動費用計(2)		39,028,479	43,254,040	-4,225,561	
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)		-8,858,076	-6,193,316	-2,664,760		
サ ー ビ ス 活 動 外 増 減 の 部	収 益	0098 その他のサービス活動外収益	32,430	23,740	8,690	
		サービス活動外収益計(4)	32,430	23,740	8,690	
	費 用	0038 その他のサービス活動外費用	0	15,200	-15,200	
		サービス活動外費用計(5)		0	15,200	-15,200
		サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)		32,430	8,540	23,890
経常増減差額(7)=(3)+(6)			-8,825,646	-6,184,776	-2,640,870	
特 別 増 減 の 部	収 益	0103 固定資産受贈額	0	114,400	-114,400	
		0106 拠点区分間繰入金収益	4,000,000	0	4,000,000	
		0111 その他の特別収益	0	15,200	-15,200	
		特別収益計(8)	4,000,000	129,600	3,870,400	
	費 用	0050 拠点区分間固定資産移管費用	0	3,567,878	-3,567,878	
		特別費用計(9)	0	3,567,878	-3,567,878	
特別増減差額(10)=(8)-(9)			4,000,000	-3,438,278	7,438,278	
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)			-4,825,646	-9,623,054	4,797,408	
繰 越 活 動 増 減 差 額 の 部	前期繰越活動増減差額(12)		77,113,763	86,736,817	-9,623,054	
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)		72,288,117	77,113,763	-4,825,646	
	基本金取崩額(14)		0	0	0	
	その他の積立金取崩額(15)		0	0	0	
	その他の積立金積立額(16)		0	0	0	
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)		72,288,117	77,113,763	-4,825,646	

小規模多機能型居宅よりみち 事業報告書（概要版）

1. 利用状況 定員：登録定員 25 名（通い；15 名／日 泊り；6 名／日）

- ・令和5年度の月平均登録者数は、12.9 名で昨年度と比較して 3.0 名減少した。定員に対する登録率は 51.0% で、昨年度と比較して 12 ポイント減少した。サービス利用開始者が 9 名、サービス利用終了者が 8 名だった。

2. 事業所の目標

重点目標①「職員一人一人が、事業に対して理解を深め、自分自身の役割について意識を持つことで主体的に事業運営に参加する」に対する取り組み

- ・毎月のよりみち支援会議で、運営基準の概要等について職員に周知した。
- ・業務や利用者の担当を決めたことで、職員が主体的に取り組めた。

重点目標②「利用者一人一人の～したいの自己実現に努める」に対する取り組み

- ・日々の利用者との会話の中で聞き取った希望は、連絡ノートに記載し、職員間で共有した。内容によっては、実現に向けた対応ができた。
- ・担当している利用者の生活圏域にある社会資源について、職員が個々に調べ地区別に表にまとめることができた。

3. サービス評価に基づく項目別計画 への取り組み

- ・サービス利用開始後 1 ヶ月で、支援内容を評価し、必要に応じて見直しを行った。
- ・日々の利用者との会話の中で「～したい」の聞き取りを行い、可能な限り希望が実現できるよう取り組めた。
- ・近隣の住民や地区の福祉委員から利用者のことで情報提供があるなど、支援者との連携ができた。
- ・在宅生活が困難になった利用者に対して地域包括支援センターに相談し、協働で入院支援を行うなど関係機関との連携ができた。
- ・「思いに寄り添うケア」について、介護の基本である 5 つ「食事」「排泄」「入浴」「移動」「接遇」に対してルールを決め、職員の目の届く場所に掲示したが意識づけまでには至らなかった。

4. サービス内容について

- ・洗濯干しや洗濯たたみ、調理や盛り付けなど、利用者本人の状態に合った活動を共同で行った。
- ・利用者の状態によっては地域行事への参加が難しいところもあったが、「フェスタおおぶち」など、地域で開催されたイベントへの参加支援ができた。
- ・「通い」「訪問」「泊り」は、定期的な提供以外に利用者の状態や要望によって柔軟に対応できた。
- ・介護相談では、随時家族等から相談ができる体制を確保した。

5. 運営推進会議

- ・新型コロナウイルス感染症の影響で 9 月は書面開催とした。それ以外は予定通り開催した。

6. 職員研修、会議等

- ・会議：よりみち支援会議は、計画通り毎月開催できた。
- ・内部研修：10 回の研修に、延べ 59 名参加した。
- ・外部研修：実績なし。
- ・防災訓練：6 月・3 月に実施した。

1. 利用状況 定員：18名（9名×2ユニット）

- ・令和5年度の一平均利用者数は、17.2名で昨年度と比較して0.5名減少した。
- 定員に対する稼働率は、95.6%で、昨年度と比較して2.9ポイント減少した。
- 新規入居者は1名、退所者は3名だった。

2. 事業所の目標

重点目標「職員一人一人が統一した介護業務が出来るよう、ケアの標準化を図る」
に対する取り組み

- ・施設内で新型コロナウイルス感染症がまん延した影響もあり、運営基準等の勉強会やそれ以外の内部研修が、予定通り実施できなかった。
- ・業務見直しやケアの見直しについて、野楽里会議で検討し、職員全体で統一して実施できるようにした。

3. ケアの具体的な取り組み内容

①生活支援について

- ・日常生活のケアについては、ほぼ計画通り実施できた。
- ・食事作り、盛り付け、洗濯干し等への活動参加は、声掛け誘導して実施した。参加を役割としている入居者もいるが、ADLが低下してきてできることが限定されてきている方もいる。
- ・8月、職員と入居者に新型コロナウイルスの感染者がでて、施設内でクラスターとなった。9月中旬に終息した。ゾーニングやガウン等着用方法の理解などがまだまだ不十分であった。内部研修にて、事例をもとに動きの確認やガウン着脱の仕方などを再確認した。

②アクティビティ活動について

- ・新型コロナウイルス感染予防対策で、外出する機会がなかったが、室内でできる活動や園芸活動などは実施できた。

③より良いサービス提供について

- ・定期的なケアプランの見直しが実施できた。
- ・ケアプランに沿ったサービスを提供し、記録はパソコンとタブレットを活用して実施できた。
- ・介護業務に多く時間をとられ、ケアマネジメント業務に充てる時間をつくるのが難しかった。

4. 職員研修、会議等

- ・会議；会議開催できない月もあった。書面開催の方法をとった月もあった。
- ・内部研修；6つの研修に、延べ51名参加した。
- ・外部研修；3つの研修に、延べ3名参加した。

5. 運営推進会議

- ・新型コロナウイルス感染予防対策で、9月は書面開催とした。それ以外は、予定通り開催した。

6. 自己評価・外部評価

- ・10月23日実施。R6年1月31日に掛川市に提出した。

7. 防災訓練

- ・6月、11月、3月に実施した。3月には放水訓練も実施した。

第二号第四様式 (第二十三条第四項関係)

地域密着サービス拠点区分事業活動計算書

(自) 令和 5 年 4 月 1 日 (至) 令和 6 年 3 月 31 日

(単位: 円)

勘 定 科 目			当年度決算 (A)	前年度決算 (B)	増減 (A) - (B)
サービス活動増減の部	収益	0056 介護保険事業収益	115,572,000	125,149,070	-9,577,070
		サービス活動収益計 (1)	115,572,000	125,149,070	-9,577,070
	費用	0015 人件費	91,238,862	97,433,061	-6,194,199
		0016 事業費	15,796,542	16,110,040	-313,498
		0017 事務費	8,478,428	8,134,749	343,679
		0026 利用者負担軽減額	53,062	0	53,062
		0027 減価償却費	22,858,073	22,851,522	6,551
		0028 国庫補助金等特別積立金取崩額	-4,208,131	-4,235,388	27,257
		サービス活動費用計 (2)	134,216,836	140,293,984	-6,077,148
		サービス活動増減差額 (3) = (1) - (2)	-18,644,836	-15,144,914	-3,499,922
サービス活動外増減の部	収益	0098 その他のサービス活動外収益	66,450	302,350	-235,900
		サービス活動外収益計 (4)	66,450	302,350	-235,900
	費用	0033 支払利息	692,466	770,452	-77,986
		0038 その他のサービス活動外費用	87,700	84,200	3,500
		サービス活動外費用計 (5)	780,166	854,652	-74,486
		サービス活動外増減差額 (6) = (4) - (5)	-713,716	-552,302	-161,414
経常増減差額 (7) = (3) + (6)			-19,358,552	-15,697,216	-3,661,336
特別増減の部	収益	0106 拠点区分間繰入金収益	12,000,000	16,000,000	-4,000,000
		0111 その他の特別収益	86,600	84,200	2,400
		特別収益計 (8)	12,086,600	16,084,200	-3,997,600
	費用	特別費用計 (9)	0	0	0
		特別増減差額 (10) = (8) - (9)	12,086,600	16,084,200	-3,997,600
当期活動増減差額 (11) = (7) + (10)			-7,271,952	386,984	-7,658,936
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額 (12)		132,258,482	131,871,498	386,984
	当期末繰越活動増減差額 (13) = (11) + (12)		124,986,530	132,258,482	-7,271,952
	基本金取崩額 (14)		0	0	0
	その他の積立金取崩額 (15)		0	0	0
	その他の積立金積立額 (16)		0	0	0
	次期繰越活動増減差額 (17) = (13) + (14) + (15) - (16)		124,986,530	132,258,482	-7,271,952

令和5年度 事業報告（概要版）

【よこすか めく森こども園】

1、保育構想

教育・保育方針

◎温かな雰囲気の中で、子どもが安心して過ごすことができるようにする。

◎豊かな環境の中で、様々な体験を通し学びを支える。

重点目標 『好きなものを見つけよう』

具体策 ・好きな人を見つけよう ・好きな遊びを見つけよう

2、業務内容

1) 今年度の目標

開園して2年を過ごす中で、見えてきた課題や今後目指していきたい事柄に対応していくために、「整える」ということに重点を置く。

2) 取り組み・評価・課題

・令和5年度については「整える」ということで取り組む計画を立てたが、前年度3月の重大案件をうけ、危機管理に重点を置き取り組んだ。危機管理の意識を高めるため、園内研修で全職員参加のマニュアルの見直し・整備を行い、意識の向上につなげた。また、出欠確認や教育保育中の人数把握・園外保育の人数確認等マニュアルに沿って行ってきたが、保護者の協力を得ることも重要であるため、保護者に伝えながら安全管理に取り組んだ。

年度が始まり間もなく厳しい職員体制となってしまったこともあり、「整える」ための他の取り組みができなかった。職員体制を整え、危機管理に加え他にも具体的に取り組み整えていくことが課題となる。

3) クラス編成

(令和6年3月末現在)

歳児	クラス名	男児	女児	計	保育教諭数
0歳児	ひよこ	5	1	6	2
1歳児	うさぎ	13	7	20	4
2歳児	りす	13	11	24	4
3歳児	ぱんだ	6	8	14	1
	こあら	7	8	15	1
	ひつじ	7	8	15	1
4歳児	きりん	8	8	16	1
	くま	9	9	18	1
5歳児	らいおん	10	11	21	1
	ぞう	8	12	20	1
合 計		86	83	169	17

4) 交流

畑の先生、また小学生・中学生・高校生との交流を行うことが出来た。特に横小2年生の音読交流は、2年の生徒から、めく森で読んであげたいという声上がり実現した。

5) 火災・地震・津波・水害・不審者対応訓練

年間目標「災害の発生に備え、子どもが自分で安全に行動できる力を養う」とし、毎月1回以上の訓練を実施。

6) 内部研修

- ・マニュアルの見直し
- ・新卒職員の公開保育を通しての話し合い

第二号第四様式(第二十三条第四項関係)

よこすか んく森こども園拠点区分事業活動計算書

(自) 令和5年4月1日 (至) 令和6年3月31日

(単位: 円)

勘定科目			当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動増減の部	収益	0072 保育事業収益	176,853,593	174,146,155	2,707,438
		サービス活動収益計(1)	176,853,593	174,146,155	2,707,438
	費用	0015 人件費	114,346,639	109,797,972	4,548,667
		0016 事業費	18,748,989	18,898,809	-149,820
		0017 事務費	32,430,603	27,645,445	4,785,158
		0027 減価償却費	51,035,696	51,181,776	-146,080
		0028 国庫補助金等特別積立金取崩額	-49,515,197	-49,546,372	31,175
		サービス活動費用計(2)	167,046,730	157,977,630	9,069,100
		サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	9,806,863	16,168,525	-6,361,662
	収益	0093 受取利息配当金収益	56,154	85,719	-29,565
サービス活動外増減の部		0098 その他のサービス活動外収益	1,761,095	1,982,106	-221,011
		サービス活動外収益計(4)	1,817,249	2,067,825	-250,576
	費用	0038 その他のサービス活動外費用	1,623,900	1,857,300	-233,400
		サービス活動外費用計(5)	1,623,900	1,857,300	-233,400
		サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	193,349	210,525	-17,176
		経常増減差額(7)=(3)+(6)	10,000,212	16,379,050	-6,378,838
特別増減の部	収益	0103 固定資産受贈額	0	1,100,000	-1,100,000
		0111 その他の特別収益	41,400	58,800	-17,400
		特別収益計(8)	41,400	1,158,800	-1,117,400
	費用	特別費用計(9)	0	0	0
		特別増減差額(10)=(8)-(9)	41,400	1,158,800	-1,117,400
		当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	10,041,612	17,537,850	-7,496,238
繰越活動増減差額の部		前期繰越活動増減差額(12)	73,715,992	56,178,142	17,537,850
		当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	83,757,604	73,715,992	10,041,612
		基本金取崩額(14)	0	0	0
		その他の積立金取崩額(15)	0	0	0
		その他の積立金積立額(16)	0	0	0
		次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	83,757,604	73,715,992	10,041,612

令和5年度 おおぶち そよ風こども園 事業報告（概要版）

1、園の運営について

教育・保育方針

- ◎温かな雰囲気の中で、子どもが安心して過ごすことができるようにする。
- ◎豊かな環境の中で、様々な体験を通し学びを支える。

重点目標 『よくたべ よくねて よくあそぶ』

- 具体策
- ・様々な食体験を通して、食べることを楽しみます。
 - ・頭と体と心を十分に動かした後は、ゆったりと体を休ませて穏やかに過ごします。
 - ・子どものやりたいという気持ちを十分に満たす環境の中で考えたり、試したり、みんなと力を合わせたりしながら、様々な経験を重ねていきます。

2、業務内容

1) 今年度の目標

- ・こども園2年目を迎える中で、法人理念を基に教育・保育目標、教育・保育方針そして本園の重点目標に沿いながら、認定こども園としての機能を内外共に見直し整えていく。

2) 取り組み評価・課題

- ・ICTを活用し、保護者に園での様子を毎日メール配信することで園への関心や理解が深まっている。
- ・職員の業務内容改善については、根本的な働く環境の整備も必要。丁寧に取り組んでいきたい。

3) クラス編成

令和6年3月31日 現在

年齢	クラス	男	女	計	職員	年齢	クラス	男	女	計	職員
0歳児	みかん	2	4	6	保育教諭 2人	3歳児	めろん	8	12	20	保育教諭 2人
1歳児	もも	7	5	12	保育教諭 2人	4歳児	ばなな	6	7	13	保育教諭 1人
2歳児	いちご	3	6	9	保育教諭 2人	5歳児	ぶどう	7	14	21	保育教諭 1人
						合計		33	48	81	保育教諭 10人

4) 交流会(ふれあい農園)3・4・5歳児

(大城農地用地開拓) 5歳児

- | | | | |
|--------|----------|-------|-----|
| 6月6日 | じゃが芋掘り | 5月24日 | 田植え |
| 6月27日 | さつま芋つるさし | 9月12日 | 稲刈り |
| 10月19日 | さつま芋掘り | | |
| 2月21日 | じゃが芋植え | | |

5) 火災・地震・消火訓練及び不審者対応訓練実施報告

- ①園児の安全確保
- ②職員の危機管理意識(責任・自覚を持ち適切な判断のもと迅速な行動をとる)

6) 内部研修

- (4月～5月) ・本園の理念、方針を共通理解する。目指す子どもの姿と園目標についての話し合い。
- (6月～7月) ・令和5年度 教育、保育についての話し合い。
- (8月～9月) ・保健衛生、健康安全、特別支援教育、危機管理についての話し合いと実施訓練。
- (10月～3月) ・保育の標準的な実施方法、危機管理について再確認、園評価まとめ、次年度についての話し合い。

3、一時預かり事業

実施状況 ・職員体制が整わず休止中だが、状況に応じて対応をしていく予定。

4、子育て支援センター事業

3月現在 2,082組

今年度より年齢別に行ってきたサークル(制作)を合同のサークルにした事で、0歳児～2歳児親子の交流の場となっている。引き続き利用者一人ひとりに寄り添い丁寧な対応をしていく。

第二号第四様式(第二十三条第四項関係)

おおぶち そよ風こども園拠点区分事業活動計算書

(自) 令和5年4月1日 (至) 令和6年3月31日

(単位:円)

勘 定 科 目			当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動増減の部	収益	0072 保育事業収益	119,278,015	121,713,272	-2,435,257
		サービス活動収益計(1)	119,278,015	121,713,272	-2,435,257
	費用	0015 人件費	81,698,887	83,802,863	-2,103,976
		0016 事業費	11,545,118	12,579,879	-1,034,761
		0017 事務費	23,062,636	22,223,131	839,505
		0027 減価償却費	17,957,079	17,866,232	90,847
		0028 国庫補助金等特別積立金取崩額	-16,068,612	-16,068,608	-4
		サービス活動費用計(2)	118,195,108	120,403,497	-2,208,389
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	1,082,907	1,309,775	-226,868	
サービス活動外増減の部	収益	0092 借入金利息補助金収益	1,243,397	1,860,000	-616,603
		0093 受取利息配当金収益	132,985	78,794	54,191
		0098 その他のサービス活動外収益	1,383,950	1,531,619	-147,669
		サービス活動外収益計(4)	2,760,332	3,470,413	-710,081
	費用	0033 支払利息	1,243,397	1,860,000	-616,603
		0038 その他のサービス活動外費用	1,209,700	1,399,500	-189,800
		サービス活動外費用計(5)	2,453,097	3,259,500	-806,403
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	307,235	210,913	96,322	
経常増減差額(7)=(3)+(6)			1,390,142	1,520,688	-130,546
特別増減の部	収益	0100 施設整備等補助金収益	31,000,000	31,000,000	0
	益	0103 固定資産受贈額	0	402,000	-402,000
		0111 その他の特別収益	21,400	27,600	-6,200
			特別収益計(8)	31,021,400	31,429,600
	費用	0042 固定資産売却損・処分損	57,400	2	57,398
		0044 国庫補助金等特別積立金積立額	28,890,252	28,890,252	0
		特別費用計(9)	28,947,652	28,890,254	57,398
	特別増減差額(10)=(8)-(9)	2,073,748	2,539,346	-465,598	
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)			3,463,890	4,060,034	-596,144
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)		25,770,641	21,710,607	4,060,034
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)		29,234,531	25,770,641	3,463,890
	基本金取崩額(14)		0	0	0
	その他の積立金取崩額(15)		0	0	0
	その他の積立金積立額(16)		0	0	0
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)		29,234,531	25,770,641	3,463,890

資金収支内訳表

(自) 令和5年4月1日 (至) 令和6年3月31日

(单位: 円)

[illegible]